

乳腺疾患に関する試料・診療情報の提供と将来の利用について

1.研究の対象

筑波大学附属病院 乳腺甲状腺内分泌外科で2013年1月1日から2030年3月31日に乳癌に対する治療を行った方

2.研究の目的・方法

目的：乳癌における臨床情報を解析し、治療効果や予後に関わる因子の探索を行います。

方法：本研究は乳癌患者さんの診療録（カルテ）に記載されている内容をもとに後方視的に解析を行います。

調査期間：筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会承認後～2040年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、既往歴、病期、病理診断結果（組織型、免疫組織学的診断など）、転移部位、治療内容、採血データ、転帰（亡くなった日、亡くなった原因、亡くなった場所）等

4. 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、2030年3月末日までに以下の連絡先まで申し出ください。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

参加辞退・説明をご希望される場合の連絡先(当院における本研究責任者)

坂東裕子 筑波大学附属病院 乳腺甲状腺内分泌外科

連絡先:〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

Tel 029-853-3341（乳腺甲状腺外科医局）平日 10：00～16：00

5. 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究組織に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。